
アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

システム工学部の教育目的とアドミッション・ポリシー

1. 学部の教育目的

工学ではなく「システム工学」という学部名称には、教育対象の複合性・総合性が意識されています。したがって本学部の教育目的としてまず第一に、

- (1) 視野を広く持ち、技術を体系的に理解できる能力を養う

ことをあげなければなりません。

しかし、初めて高等教育を受ける受験生に対して、総合力だけに重点をおくこともできません。よって、

- (2) 専門領域に応じた基礎学力・基礎技術を確実に修得させる

こともまた必要です。すなわち、本学部では専門性にある程度の幅をもたせて科学技術の教育を行うことを目的とします。

「システム」にはまた応用性を重視するという意味合いも含まれています。

本学部では実学教育を旨とし、

- (3) 産業・社会のニーズに即応できる実践力を養うこと

も目的として掲げています。

これには、知識と技術を実際の製造物に応用できる能力とともに、システムを開発・運用するプロセスに必要なコミュニケーション能力を養うことも含まれます。

2. アドミッション・ポリシー

前節で設定した教育目的を実現するため、本学部の受験生に対し、下記のようなアドミッション・ポリシーを掲げています。高等学校等で履修すべき具体的な教科・科目等については、入学者選抜実施教科・科目を参考にしてください。

- (1) 工学系大学教育にたえるため、理数系の基礎知識と問題解決能力を求める。
 - (2) システム工学特有の複合領域の大学教育に適合するよう、論理的思考力と状況判断力、さらに高い倫理感を求める。
 - (3) 今日の技術者・研究者に必要な英語力とコミュニケーション力の素養を求める。
-

平成28年度 和歌山大学システム工学部推薦入試学生募集要項

本学部においては、学校長からの推薦に基づき、大学入試センター試験、面接および調査書等を資料として判定する推薦入試の入学試験を実施します。

1. 募集人員

学 科	募集人員
シ ス テ ム 工 学 科	35名

合格者が募集人員に満たない場合には、その差の募集人員を前期日程の募集人員に含めて募集します。

2. 出願要件

次の(1)～(4)の条件を全て満たし、学校長が責任をもって推薦する者としてします。

- (1) 高等学校(中等教育学校の後期課程を含みます。)を卒業した者、もしくは平成28年3月に卒業見込みの者、特別支援学校(高等部)を修了した者、もしくは平成28年3月に修了見込みの者、又は高等専門学校3年次を平成28年3月に修了見込みの者
- (2) 学業成績が優秀で本学部での学習に強い意欲をもつ者
- (3) 合格した場合、入学を確約できる者
- (4) それぞれの学科が指定する平成28年度大学入試センター試験の教科・科目を受験する者
(大学入試センター試験教科・科目は、「5. 入試方法等」を参照してください。)

3. 出願手続

(1) 出願書類

①	志 願 票	本学部所定様式。大学入試センター発行の「平成28センター試験成績請求票(推薦)国公立推薦入試用」を貼付してください。 また、志願票の裏面の所定欄に、検定料納入の際に金融機関又はコンビニエンスストアから交付される「振込金受付証明書(C票)」又は「収納証明書」を貼付してください。
②	受 験 票 ・ 写 真 票	本学部所定様式。写真(縦4cm×横3cm)を貼付してください。
③	推 薦 書	本学部所定様式。学校長が作成してください。 (推薦理由は、ワープロ等での直接印字可。)
④	志 望 理 由 書	本学部所定様式。志願者の自筆に限ります。 文章だけで説明できない場合は、文章に加えて作品または資料を添付することができます。
⑤	調 査 書	「平成28年度大学入学者選抜実施要項」で定める調査書の様式で学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 高等専門学校については、調査書に準じて作成してください。
⑥	宛 名 票	本学部所定様式。
⑦	「受験票在中」封筒	本学部所定封筒。志願者の郵便番号・住所・氏名を明記し、郵便切手362円分を貼付してください。
⑧	入 学 検 定 料	17,000円(下記のいずれかの方法で納入してください。)
	【金融機関】	別添の振込依頼書により金融機関の窓口にてお振込ください。
	【コンビニエンスストア】	「セブン・イレブン」、「サークルK・サンクス」、「ローソン」、「ミニストップ」、「ファミリーマート」のいずれかのコンビニエンスストアからお支払いください。 支払期間は、平成27年12月1日(火)午前0時～平成28年1月7日(木)午後3時までです。ご注意ください。 (上記以外のコンビニエンスストアからは払込できません。なお、詳細は必ず、別添の封筒内にある「コンビニエンスストアでの検定料払込方法」を参照してください。)

(2) 出願期間

平成28年1月5日(火)～1月7日(木)の午後5時【必着】

(3) 出願方法

- ① 学校長の責任において、志願者が1名の場合でも出願書類を一括し、「書留・速達」にて郵送してください。なお、志願者個人からの出願は受理しません。
- ② 一括する封筒は、各校で用意し、表面に「システム工学部推薦入試験願書〇名分在中」と朱書きしてください。
- ③ 志願者の出願書類は個人ごとに試験書類在中封筒に封入してください。
- ④ 作品または資料を添付する場合には、試験書類とともに郵送してください。作品は破損しないように梱包してください。万一作品に破損や汚れが生じても本学は責任を負いません。(「推薦入試志望理由書記入要領」を参照)

(4) 試験書類等の提出先および問い合わせ先

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地

和歌山大学システム工学部教務係 電話 (073)457-8021(直通)

4. 出願に関する注意事項

- (1) 国公立大学の推薦入試(大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて)へ出願することができるのは、1つの大学・学部のみです。
 - (2) 出願手続後は、書類記載事項の書き換えは認めません。
 - (3) 試験書類は、大学入試センター試験成績請求票を含めて、受理後、いかなる理由があっても返還しません。
-

5. 入試方法等

推薦書、志望理由書および調査書等の試験書類、大学入試センター試験の成績および面接の結果を総合的に判定します。

(1) 入学者選抜実施教科・科目および配点

学 科 名	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査		合 計
	教科	科 目 名 等	配 点	教 科 ・ 科目名等	配 点	
シ ス テ ム 工 学 科	国	国	200	面 接	600	1800
	地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1	100			
	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	150			
	数	数I, 数I・数A から1	150			
		数II, 数II・数B, 簿, 情報 から1	150×2			
	理外	物, 化, 生, 地 から2	300			
	英(リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓 から1	1200				
		計 5教科7科目				

◎大学入試センター試験の利用教科・科目について

- ※大学入試センター試験の地歴および公民において、必要教科・科目数を超えて受験している場合には、得点にかかわらず第1解答科目を採択します。
 - ※「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校(中等教育学校の後期課程を含みます。)においてこれらの科目を履修した者に限ります。
 - ※外国語の「英語」については、筆記試験(200点)とリスニングテスト(50点)の合計得点を200点に換算したものを得点(素点)とします。
 - ※大学入試センター試験の旧教育課程履修者に対する経過措置については、次ページを参照してください。
-

高等学校学習指導要領の改訂に伴う平成28年度大学入学者選抜(大学入試センター試験)における旧教育課程履修者に対する経過措置については、下記のとおりとする。

なお、本経過措置は平成28年度限りの措置とする。

(科目選択の方法)

『工業数理基礎』は、数学②において出題する『数学Ⅱ』、『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』及び『情報関係基礎』の4科目と合わせ、計5科目のうちから1科目を選択解答する。

※『工業数理基礎』を選択解答できる者は、高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)において、これらの科目を履修した者(大学入学資格検定試験合格者で、これらの科目に合格した者を含む。)及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)者に限る。

※『工業数理基礎』は、旧教育課程履修者のための出題科目です。新教育課程履修者は『工業数理基礎』を選択解答できないので注意すること。

(注)

新教育課程履修者	①高等学校(特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。)に平成25年4月に入学し、平成28年3月卒業見込みの者 ②中等教育学校の後期課程に平成25年4月に進級し、平成28年3月卒業見込みの者
旧教育課程履修者	上記以外の者 *高等学校等卒業者、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第3学年修了者又は修了見込者、外国の学校等修了者又は修了見込者、在外教育施設修了者又は修了見込者、及び高等学校等を平成28年3月卒業見込みであるが、入学は平成25年3月以前の者など、上記に該当しない者

※「新教育課程」とは、平成25年4月1日から適用された高等学校学習指導要領(平成21年文部科学省告示第34号)に基づく教育課程及び平成21年3月9日文部科学省告示第38号の特例により定められた教育課程をいい、「旧教育課程」とは、従前の高等学校学習指導要領に基づく教育課程をいう。

(2) 入試期日および実施場所

期 日	教科・科目等	場 所
平成28年1月29日(金)または1月30日(土) 詳細は『受験票』にてお知らせします。	面 接	システム工学部A棟およびB棟

6. 面接の受験上の心得

(1) 本学受験票および大学入試センター試験受験票を必ず携帯し、本学係員の請求があれば提示できるようにしてください。

(2) 受験票で指定した時刻にシステム工学部A棟玄関ホールに集合してください。

集合時刻に遅刻した者は、受験を放棄したものとみなす場合があります。

7. 障害を有する入学志願者の事前相談

障害(学校教育法施行令第22条の3の規定に定める障害の程度)を有する入学志願者は、受験上および修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願に先立ち、学校長を通じて事前に相談してください。

(1) 相談期日

平成27年12月11日(金)まで

なお、期日後に不慮の事故等により障害を有することとなった場合は、その際に相談してください。

(2) 問い合わせ先

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地

和歌山大学システム工学部教務係 電話 (073)457-8021(直通)

8. 合格者の発表

平成28年2月7日(日) 午前10時

電話等による合否結果の問い合わせには一切応じません

- ①合格者の受験番号を本学構内の掲示板に掲示するとともに、推薦学校長あてに合格発表掲示の写しを郵便で送付します。
- ②推薦入試合格者には、合格通知書および関係書類を郵便で送付します。
- ③合格者については、国公立大学の一般入試における合格決定業務を円滑に行うため、氏名および受験番号並びに入学手続に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センターおよび併願先の国公立大学へ送付しますのでご了承ください。

9. 推薦入試に合格しなかった場合

- (1) 本学部の推薦入試に不合格となった場合は、(2)により出願した者に限り本学および他の国公立大学・学部一般入試を受験することができます。
- (2) 本学部の推薦入試の合否が確定するのは、一般入試の出願期間後になるので、推薦入試の入学試験に合格しなかった場合に備えて、国公立大学・学部一般入試を受験を希望する場合は、所定の手続きにより出願手続きをしておく必要があります。

10. 入学手続

合格者は、下記の入学手続期間内に入学手続を行なってください。入学手続の詳細については、選考結果通知の際に送付する『入学手続案内』でお知らせします。

(1) 入学手続期間

平成28年2月16日(火) 9:30~17:00

ただし、やむを得ない理由により上記日に手続ができない場合には、2月16日(火)17:00までに和歌山大学入試課(073-457-7116)に電話連絡があった者に限り、2月17日(水)正午まで受け付けます。

(2) 入学手続に必要なもの

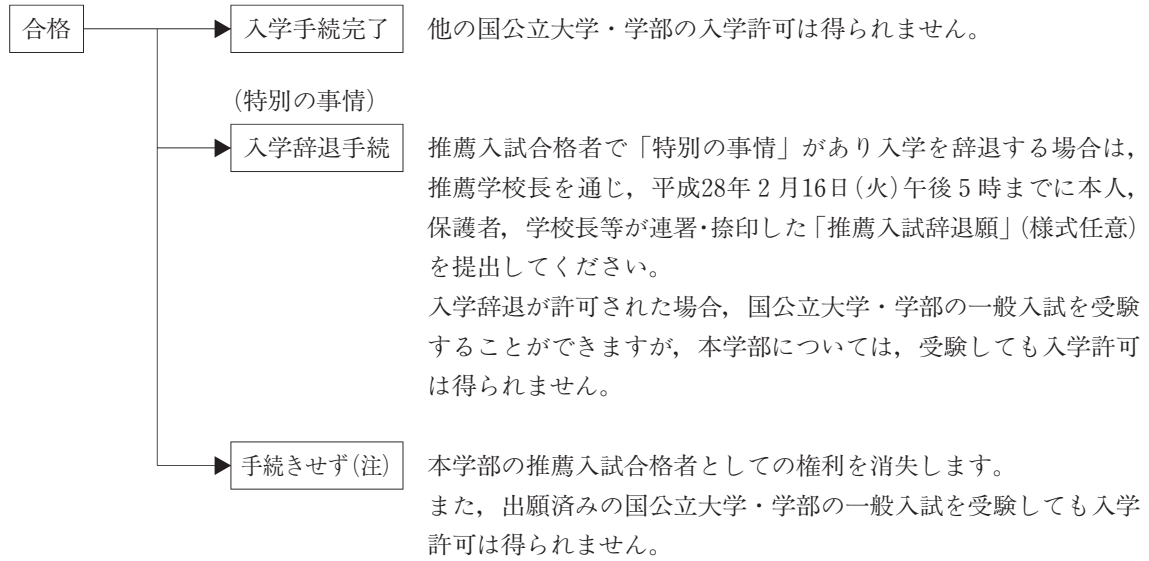
①	入 学 料	282,000円 (注) 入学料は本学所定の振込依頼書により、入学手続時までに納入してください。これについては、合格者に送付する入学手続案内で納入方法の詳細をお知らせします。
②	授 業 料	前期分 267,900円 年額 535,800円 (注) 入学手続案内で、納入方法の詳細をお知らせします。
③	受 験 票	「本学受験票」および「大学入試センター試験受験票」を必ず持参してください。
④	合 格 通 知 書	本学より送付したもの。

※これらは、入学手続時に必要としますので、忘れないよう十分注意してください。

※上記の金額は、平成27年度のもので、平成28年度入学者の納付金額については、決定次第、別途お知らせします。

11. 入学手続に関する注意事項

合格した場合には、以降の手続きの取り方により、次のようになります。



(注) 「合格した場合、入学を確約できる」ことが出願要件です。合格したにもかかわらず、入学手続きをとらないことがないように注意してください。

12. 入試情報の開示

(1) 開示内容

①志願者数、受験者数、合格者数、入学者数

- ・ホームページに開示(ただし、入学者数については次年度確定後)

②試験成績(得点・評価)

- ・開示方法等

◇受験者本人からの請求により開示します。

【窓口での受付】

申請書(本学所定様式)に記入のうえ、申し込んでください。

《請求に必要なもの》

- a. 本学推薦入試受験票
- b. 大学入試センター試験受験票

【郵送による受付】

受験者が遠隔地等の理由による場合は、郵送により請求することも可能です。

請求する本学あての封筒の表に「成績開示請求」と朱書きし、必要書類を同封のうえ、必ず受験者本人が郵便(特定記録)で申し込んでください。

《請求に必要なもの》

- a. 定形サイズの返信用封筒(書留郵便料として512円分の切手を貼付し、受験者本人あての住所・氏名を明記したもの)
- b. 申請書(本学所定様式)
- c. 本学推薦入試受験票(写)
- d. 大学入試センター試験受験票(写)

◇開示時期……………平成28年5月から6月の2か月間(郵送必着)

窓口での請求の場合は同期間内の月～水曜日(祝祭日を除く)、9時～17時

◇開示場所(請求先)…システム工学部教務係(下記問い合わせ先)

③調査書(成績評価および出欠の記録)

- ・閲覧のみ可(開示時期・場所は試験成績の開示時期・場所に準じる。)

(2) 入試情報の問い合わせ先

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地

和歌山大学システム工学部教務係 電話 (073)457-8021(直通)

13. その他の注意事項

- (1) 提出書類に不備があるときは、受け付けないで返却することがありますので、十分点検の上、提出してください。
 - (2) 提出書類は正確に記入してください。記入事項に偽りがあった場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
 - (3) 合格通知場所を変更したときは、直ちに届け出てください。
 - (4) 受験について照会する場合には、必ず受信場所・氏名・郵便番号を明記し、郵便切手を貼った返信用封筒を添えてください。ただし、照会事項によっては回答できないことがあります。
 - (5) 出願時のデータや、試験実施結果、入学手続きの状況等の個人データを入試に関する調査・研究のために利用することがありますので、予めご了承願います。なお、これらの個人データを利用する場合も、個人を特定する内容の資料や個人を特定できる資料を作成することはありません。
-

入学案内

学部の紹介

近年、科学技術の急速な発展に伴い、さまざまな工業技術が高度化・専門化してきました。また、一方で、エネルギー、環境、情報のようにグローバルに変化する課題から地域の産業の再生や振興といった課題にも対処することが要求されるようになってきました。前者は各専門分野の分化、後者は専門分野の統合・総合化を示唆しています。

このような状況の下にある産業界や社会の要請により柔軟に対応できるよう、システム工学部では平成27年、これまでの5学科(情報通信システム学科, 光メカトロニクス学科, 精密物質学科, 環境システム学科, デザイン情報学科)を1学科(システム工学科)へと改組をおこないました。システム工学科には、10教育研究領域(メジャー)を設定し、学生自らが将来を志向し、自らの興味や資質に見合った領域を主体的に選択することができます。具体的には、2つのメジャーを選択することによってコースを構成し、学科に相当する専門分野を学ぶことができます。これによりこれまでの学科の枠組みに固執することなく、広範かつ柔軟な専門性をもった応用力・適用力が養われることが期待されます。以下に、各メジャーの教育目的とともにいくつかのコースを示します。

・メジャー：機械電子制御

機械電子制御メジャーでは、幅広い視点から論理的思考をもって問題の解決にあたることのできる技術者をめざして、機械工学、応用数学などの素養を身につけた後、制御工学、ロボット工学などのシステム論を用いた設計、運用に関する専門技術について学びます。

・メジャー：電子計測

電子計測メジャーでは、人々の生活や産業を支える情報のセンシングや処理システムを創造できる技術者の育成をめざして、電気電子工学や光工学の基礎と、計測デバイスや計測情報処理などの要素技術、さらにこれらを統合した計測システムについて学びます。

・メジャー：応用物理学

応用物理学メジャーでは、物質におけるナノスケールの世界を探求し、新しい材料やデバイスの開発に対する社会のニーズに柔軟に対応できる能力を身につけられるように、物性物理学、材料科学、電子工学にわたる専門分野を学びます。

・メジャー：化学

化学メジャーでは、化学に関わる基本的法則を学んで物質に関する理解の基盤を作った後、ナノレベルの世界における化学現象や法則、原子・電子レベルでの相互作用の発現や、新たな機能性物質の設計・開発などの専門技術について学びます。

・メジャー：知能情報学

知能情報学メジャーでは、人間とコンピュータの新たな関係が再構築される時代において、科学者や技術者として活躍できる人材を育成するための専門教育を行い、人工知能やロボット、視覚情報処理、コンピュータグラフィクスなどについて学びます。

・メジャー：ネットワーク情報学

ネットワーク情報学メジャーでは、インターネット上に構築される、新たな情報ネットワーク社会において、科学者や技術者として活躍できる人材を育成するための専門教育を行い、モバイル通信やWebシステム、ビッグデータの解析などについて学びます。

・メジャー：環境科学

環境科学メジャーでは、環境を守り、育て、次世代に継承する人材の育成をめざして、環境破壊を未然に防ぐ、自然災害から命や暮らしを守る、地球温暖化に対応する、美しい風景を創造するなど、持続可能な社会の実現に貢献するための知識と技能を学びます。

・メジャー：環境デザイン

環境デザインメジャーでは、人と自然のよりよい関係を具現化できる人材の育成をめざして、自然から生活空間にいたる環境を一体として捉え、自然再生、防災緑化、自然エネルギーなど自然と調和する技術、景観保全やまちづくり、建築設計などの計画技術について学びます。

・メジャー：メディアデザイン

メディアデザインメジャーでは、メディアデザインと情報の双方の知識を持つ人材の育成をめざして、情報技術としてのサウンドやビジュアルのデザイン、人間工学に基づくインタフェースデザイン、さらにその基礎となるデザイン制作や企画方法について学びます。

・メジャー：社会情報学

社会情報学メジャーでは、人や社会を豊かにする情報システムを企画・設計する能力を身につけます。情報技術に支えられた社会の仕組みを知り、新しい情報システムの可能性を探求するために、ソフトウェア開発や高度なコミュニケーションについて学びます。

代表的なコースとそれを構成するメジャー，期待される就職先

コース名	メジャー名	期待される就職先
ロボティクス	機械電子制御 電子計測	機械・電機，自動車，精密機械
ナノテクノロジー	応用物理学 化学	半導体・電子部品，精密機器，化学・医薬品・化粧品， 素材
コンピュータサイエンス	知能情報学 ネットワーク情報学	情報・通信，ITサービス，電機
デザインシステム	社会情報学 メディアデザイン	情報・通信，ITサービス，出版・印刷
環境システム	環境デザイン 環境科学	公務員(土木，建築，造園)，建築・住宅，環境プラント
環境化学	環境科学 化学	環境職公務員，環境測量士
電気電子工学	応用物理学 電子計測	電気電子メーカー，精密機械
知能機械システム	機械電子制御 知能情報学	自動車，電機，精密機械，生産機械，医療機器，情報通 信産業，ゲーム・アミューズメント
ネットワーク社会システム	ネットワーク情報 社会情報学	情報通信，サービス産業，ゲーム・アミューズメント

○システム工学部では、スーパーサイエンスティーチャープログラムを設けます。これはシステム工学部卒業後、本学教育学研究科に進学し高校の理科の教員免許の取得を目指すコースです。

学 生 生 活

1. 入学金免除の制度

本学では、次の要件にいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき選考の上、入学金の全額または半額を免除する制度があります。

- ①入学前1年以内において本人の学資を主として負担する者(学資負担者)が死亡した場合
- ②入学前1年以内において本人若しくは学資負担者が風水害の災害を受けた場合

2. 入学金徴収猶予の制度

本学では、次の要件にいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき選考の上、平成28年7月末日(入学年度の7月末日が日曜日にあたる時は前々日まで、土曜日にあたる時は前日まで)を限度として入学金の納入を猶予する制度があります。

- ①入学前1年以内において本人の学資を主として負担する者(学資負担者)が死亡した場合
- ②入学前1年以内において本人若しくは学資負担者が風水害の災害を受けた場合
- ③経済的理由により入学金の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合

3. 授業料免除の制度

本学では、次の要件にいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき選考の上、授業料の全額または半額を免除する制度があります。

- ①入学前1年以内において本人の学資を主として負担する者(学資負担者)が死亡した場合
- ②入学前1年以内において本人若しくは学資負担者が風水害の災害を受けた場合
- ③経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合

4. 奨学金

(1) 日本学生支援機構の奨学金

(申込資格)

学業・人物ともに優秀で、経済的理由により修学が困難である者。

(奨学生の決定)

本学が人物・健康・学力・家計の申込基準を満たしている奨学金申込者の中から選考のうえ、日本学生支援機構に推薦します。同機構では審査のうえ、採用を決定します。基準を満たしていても、予算の関係で採用されない場合があります。

(奨学金の種類)

<第一種奨学金(無利子)> ……貸与月額 自宅通学 30,000円, 45,000円から選択
自宅外通学 30,000円, 51,000円から選択

<第二種奨学金(有利子)> ……貸与月額 30,000円, 50,000円, 80,000円, 100,000円, 120,000円から選択

(注)貸与月額については、平成27年度実績であり変更されることがあります。

(2) 地方公共団体等の奨学金

日本学生支援機構の奨学金の他に、地方公共団体や各種団体等が扱っている育英奨学金制度があります。これらの募集は、ほとんどが4～5月に集中しており、学生センターの掲示板に随時掲示しています。この他に、大学に直接募集のないものもありますので、各団体や出身の都道府県に各自問い合わせてください。

(3) 家計急変奨学金

本学では、学資負担者の家計急変(失職、破産、倒産、病気、死亡もしくは地震・風水害の被害等)により修学を継続することが経済的に困難となった学生の学費・生活費を援助することを目的とした奨学金制度があります。

貸与額：無利子貸与とし、一時金10万円, 20万円, 30万円より申請者が選択する。

返還期間：貸与された翌月から卒業後3年以内

5. 学生傷害保険等

(1) 学生教育研究災害傷害保険(学研災)

学研災は、学生が正課中、学校行事中、通学中、教育研究のために大学施設内にいる間及び課外活動(インターンシップ、介護体験、教育実習、保育実習、ボランティア活動)中等に不慮の事故にあい、傷害を受けたり、あるいはそれらが原因で後遺障害を負ったり、死亡した場合に、当該学生やその家族に保険金が支払われる全国的規模の補償制度です。

(注)本学が学生全員の学研災の保険料を負担し、一括加入していますので、個々に加入する必要はありません。

(2) 学研災付帯賠償責任保険(学研賠)【任意加入】

学研賠は、日本国内外において、学生が正課中、学校行事中、課外活動中及びその往復等で、他人にケガを負わせたり、他人の財物を損壊したことにより生ずる法律上の損害賠償を補償する制度です。

(3) 学研災付帯学生生活総合保険(学総)【任意加入】

学総は、学研災及び学研賠では補償が不足と思われる場合に、学研災に加えて任意に加入できる保険で、学研災や学研賠では補償されない病気や日常生活でのケガ等についても補償されます。この保険に加入すれば、賠償責任を負った場合の補償を含んでいるため、学研賠に加入する必要はありません。

6. 学生寮

本学には、次のとおり学生寮が設置されています。

区 分	所 在 地	定員	1室定員	新入生入寮可能人員	備 考
学生寮(男子)	和歌山市栄谷930番地 (大学構内)	120人	1人	約30人	鉄筋コンクリート 5階建
学生寮(女子)		50人	1人	約10人	

寄宿料は、月額4,300円となっています。なお、寄宿料は、和歌山大学学生寮管理運営規則の改正により変更することがあります。寄宿料以外に、寮生活に伴う電気代、ガス代、水道代等の負担があります。

7. 下宿・アパート

市街地及び大学周辺のアパート・マンション等の斡旋は、和歌山大学消費生活協同組合(073-456-4155)で行っていますので、各自問い合わせてください。なお、平均的な物件の家賃は月額35,000円です。